

2026年 新年のご挨拶



剣淵町長

西岡 将晴



おきまして、多くの町民の皆様から温かいご支援とご厚情を賜り、剣淵町政の舵取りという重責を担わせていただくこととなりました。改めて、その使命の重さに身の引き締まる思いであります。

就任以来、町民の皆様の声を真摯に受け止め、新しい剣淵町の未来を切り拓くための準備を進めており、本年は、町をさらに前進させる実行の年として、町民の福祉の向上と、剣淵町の持続的な発展のために、職務に全力で取り組んでまいります。

まず、国や北海道、そして近隣市町村との連携を一層強化し、単独の自治体という点での活動にとどまらず、広域的な面としての地域活性化を目指します。

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

次に、経済活性化と関係人口の拡大に向けた施策を推進し、

企業誘致を積極的に行うとともに、現在直面している超高齢社会や人手不足などの社会情勢の変化に適応しながら剣淵町を次の世代に豊かななかたちで引き継いでいくため、「オールけんぶく」で産業振興に取り組み、経済の安定的な発展を目指してまいります。

また、剣淵町の豊かな地理的特性を最大限に活かし、若者から高齢者まで、誰もが健康で楽しく住み続けられ、そして安心して働ける自立したまちづくりを推進し、町民一人ひとりが主役となり、笑顔があふれる地域社会の構築を目指してまいります。

さらには、「絵本の里けんぶく」が持つ素晴らしいポテンシャル（潜在能力）を観光やビジネスの側面から再評価し、町外からの旺盛な需要を積極的に取り込みます。私たちの町の魅力を、道内・国内はもとより、広く世界へと発信し、剣淵町のブランド価値を高めてまいります。

地方を取り巻く環境は決して平坦ではありません。しかし、剣淵町には、これまで培ってきた開拓以来、困難に立ち向かう力強いエネルギーを受け継がれています。この活力を最大限に活かし、皆様と対話しながら町一丸となって、協働の精神で知恵を出し合い、力を合わせることで、町の未来は必ず明るく拓けると確信しております。

これらを踏まえて、先人が築きあげてきた町の歴史や経過、功績も重んじながら、新たな時代、新たなまちづくりに向けて力強くスタートしていきたいと思います。

結びに、本年が皆様にとりまして、希望に満ちた輝かしい一年となりますように、心からお祈り申し上げますとともに、新しい町政への変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていた